



か い ご げ ん ば 介護の現場から



初めて介護の仕事についてから今年で21年目になります。この20年の間に介護福祉士、介護支援専門員の資格を取得し、10年前には認知症実践者研修も終了しました。そして15年間はグループホームで勤務しています。その間、たくさんの利用者と日々を過ごし、いろいろな体験や経験をしてきました。時にはうまく思いが伝わらなくてイライラしたことや、大変なこともあり、自分がこの仕事に向いていないのではと考えさせられることもありました。逆に、素敵で忘れられない思い出もたくさんあります。すべての利用者が、もし自分の親だったらと思い、利用者、その家族の気持ちを考えることを忘れずに日々の介護をするように心がけ、してあげているのではなく、「できないことを手伝わせて頂く」という気持ちを大切にしています。以前、実践者研修の指導員が言った言葉です。「謙虚な気持ちを持って努力すれば、何か得られるものがあるはずです。未熟な私達(介護者)にご利用者は信じて下さり、身を任せて下さっています。その思いを大切にくみ取りながら、笑顔いっぱいの介護を目指しましょう」私はこの言葉を忘れずにこれからも利用者と笑顔いっぱいの日々を過ごしていこうと思っています。

(グループホーム共生の里：K計画作成担当者・介護福祉士)

